

令和2年度とちぎ夢ファーレ 実績報告書（HP用）

団 体 名： とちぎ楽笑一門会

代 表 者 名： 渡邊 久江

会 員 数： 8名

連絡先（電話）： 090-3337-2960

メールアドレス： tatsumotomw@hotmail.com

団体 HP の URL：



○この活動を始めた動機（目的）

日頃、練習している成果を披露できる喜びと高齢者が、それらを鑑賞して元気になってくれる嬉しさ、観光客が栃木市に興味をもってもらえる嬉しさが活動のコンセプトになっている。

“南京玉すだれ”で高齢者への元気づけ、観光客への栃木市 PR 行う事により、高齢者の方々に元気と笑いを与え、日々の生活を明るく楽しく過ごしてもらい、そして、観光客に栃木市をテーマにした南京玉すだれを披露することにより、栃木市の PR に繋がる。

今後、更に多くの場所で様々な方々と笑いをテーマに互いに元気になれるよう活動していきたい。

○実際に令和2年度に行った活動とその成果（結果）

月	活動内容
4	外部講師からの指導、練習（4/7（火）万1東公民館、10名）
5	練習（5/12（火）万1東公民館、8名）
6	練習（6/9（火）万1東公民館、8名）
7	外部講師からの指導、練習（7/7（火）万1東公民館、10名）
8	練習（8/4（火）万1東公民館、8名）
9	練習（9/8（火）万1東公民館、8名）
10	練習（10/6（火）万1東公民館、8名）
11	外部講師からの指導、練習（11/3（火）万1東公民館、10名）
2	練習（2/23（火）万1東公民館、8名）
3	南京玉すだれで栃木市 PR 活動（3/14（日）巴波川浴い、8名）

【栃木市 PR 活動の様子（3月）】



○良かった点や苦労した点

南京玉すだれを定期的に外部講師から指導を受け、練習して慰問活動や各イベントへの出演する予定だったが、コロナの影響で慰問活動やイベント自粛となったため、主に公民館で感染予防対策をしながらの練習となった。

令和3年2月後半に緊急事態宣言が解除となったので、3月14日(日)巴波川沿いにて、観光客へ南京玉すだれを通して栃木市 PR を行った。感染症対策をしながらイベントを開催する難しさに苦労した。

○これからの展望

コロナ前のようなイベントへの取り組みが難しくなるため、新しい生活様式に沿ったイベントへの認識を図り、webを使った催しやYouTubeの利用やZoomを活用した会議を取り入れ、with コロナでのイベント開催が出来るようにしていきたい。

○その他

With コロナでのイベント開催に向け、行政のフォローとバックアップが必要不可欠となるので、イベント開催マニュアルやPCR検査、消毒業務等のご協力を得たい。